

平成29年度全国学力・学習状況調査

結果の分析と活用

山梨県教育庁義務教育課

調査結果を踏まえた学校の取組



まずは、先生方が調査問題を解きましょう。

調査結果概況

- ① 分類の各項目について結果を見ます。
- ② 正答数分布グラフの分布の形状から、児童生徒の解答状況を把握します。

設問ごとの解答状況

- ③ 全国平均との差が大きい設問、正答率の低い設問、無解答率の高い設問に着目します。
- ④ 解答類型の反応率から誤答の状況（児童生徒はどこでつまづいているのか）をつかみ、誤答の原因（どこに課題があるのか）を考えます。

授業改善に向けて

- ⑤ 自校の課題について全教職員で共有します。
 - ⑥ 対象学年だけでなく、それぞれの学年で取り組むべきことを明らかにします。
- ⑦ 本冊子「結果の分析と活用」や「平成29年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえた授業改善」（管理職研修会で配付）、国の調査資料（解説資料、報告書、授業アイディア例）等を参考にして、指導の改善・充実を図りましょう。また、「やまなしスタンダード」の7つの視点を授業づくりに生かしましょう。



※同様の資料が、高校、特別支援学校にも配付されています。

やまなしスタンダード

●授業づくりの7つの視点

- ① 授業の始めに児童生徒に授業のめあて（目標）を示している。
- ② 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。
- ③ 児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。
- ④ 児童生徒は、ノートをとっている。
- ⑤ 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにしている。
- ⑥ 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて（目標）を達成しているかを評価している。
- ⑦ 家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びついている。

学習目標 授業の工夫・改善②～④ 活用・探究⑤ 評価⑥ 学習習慣⑦

目標提示①



※県の結果資料は義務教育課のホームページから、国の調査資料は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードできます。

全国学力・学習状況調査の実施は6年生ですが、調査問題には、1年生～5年生までの内容が盛り込まれています。調査問題の内容や調査の結果で課題になった内容については、全教職員での共通理解が必要です。



国語と算数の問題を解きましょう。

まず、先生方が、全国学力・学習状況調査の国語と算数の問題を解きましょう。



問題は、各学年の内容にどのように関わっていますか？

調査問題の内容は、「どの学年」「どの内容」に関わっているかを確認しましょう。

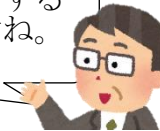
例えば、**算数では…**

平成29年度の問題は？ B2



かけ算やたし算の計算が出てきます。
2年生、3年生の学習が基本となります。

どの学年でも、たくさんの情報からどの情報を使えばよいかを判断する力を身に付けることが必要ですね。



2

ゆりえさんたちは、交流会に来てくれた地域の方20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

1 通送るのにかかる料金は、封筒の大きさや重さによって、次のように決まっています。

1 通送るのにかかる料金		
封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g以内	82円
	50g以内	92円
大きい封筒	50g以内	120円
	100g以内	140円
	150g以内	205円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1 通の重さは27gになりました。また、大きい封筒に入れると、1 通の重さは36gになりました。ゆりえさんたちは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

(1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20 通送るときの料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安くなりますか。

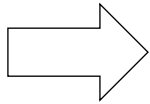
求め方を言葉や式を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。

★下の「平成28年度の問題」に倣い、「平成29年度の問題」について、関わりのある学年や内容を挙げましよう。

平成28年度の問題は？ A9 (1)

あたらしいさんすう1年下 (東京書籍)

(1) バスに乗る人が、バス停に1列に並んで待っています。さゆりさんの前に10人、後ろに19人います。バス停に並んでいる人数は全部で何人ですか。求める式と答えを書きましよう。



9

バスでいにひとがならんでいます。けんさんのまえに4にんいます。けんさんのうしろに3にんいます。ぜんぶでなんにんならんでいますか。

しきは4+3になるのかな。ずのつづきをなごう。

	4にん	けん	
まえ	○	○	○

平成28年度の問題

- B1 ⇒ 第3学年 (2, 3位数×1, 2位数の乗法), 第4学年 (面積の求め方)
- B2 ⇒ 第3学年 (数量の関係を表す式, 小数の意味や表し方), 第4学年 (四則混合の計算), 第5学年 (小数の乗法や除法)
- B3 ⇒ 第2学年 (乗法の意味), 第3学年 (除法の意味, 円), 第4学年 (小数の乗法や除法), 第5学年 (多角形や正多角形)

国語では・・・

平成29年度A5

3 一 本めど二本めのシートは赤れただけ、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

(意味)
三度目の正直
一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

(使い方の例)
ア

5 古川さんは、こわいの意味を辞書で調べ、こわいカードを作っています。次の「ア」に入るこわいの使い方の例として最も適切なものを、あといから3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア

第3, 4学年
長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使う。

平成28年度A8

8 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字で、いねいに書きましょう。また、3のローマ字は、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

(例) [いぬ] ⇒ inu

1 [りんご] ⇒ _____

2 [あさって] ⇒ _____

3 hyaku ⇒ [_____]

※解答は、解答用紙に書きましょう。

第3学年
日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書く。

★下の問題に依い、「平成29年度の問題」について、関わりのある学年や指導事項を挙げましょう。

平成29年度の問題は？ B1

5・6年生では、目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことができるようにしたいですね。

1・2年生でも、相手に応じて、丁寧な言葉遣いと普通の言葉遣いとの違いを意識させていきます。

3・4年生でも、相手や目的に応じて、筋道立てて話すことができるような学習が大切です。

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」(「スピーチの練習の様子」)「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

1 折り紙とは(紙を折って、いろいろな形を作る遊び)です。

2 自分の経験(実際に「折」を覚える)を話します。

3 折り紙の例(「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など)を話します。

4 折り紙のやりかたは、(色や 모양がきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができます)です。

5 まとめ (体験コーナーのしようか)。

【スピーチの練習の様子】(動画で記録したものを)

私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

折り紙のみりよくは、色や 모양がきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができます。私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。

これで、折り紙の紹介が終わります。

💡 どんなことに留意して指導しますか？

今後の指導で、どんなことに留意したらよいか、低・中・高学年ブロックで話し合ってみましょう。

💡 つながりを意識した授業構成を！

他学年とのつながりを意識しながら、授業を構成していきましょう。